



## 質疑一般質問

※質問、答弁は一部抜粋です。詳しくは大津市議会ホームページをご覧ください。(令和2年2月議会)

### 幸光 正嗣

市内建設業者の育成と入札制度の見直しについて  
本市では予定価格及び最低制限価格を事前公表としてきた結果、くじ引きによる落札が増え、事業者の見積り努力や競争を損ねる弊害が生じている。さらに入札制度を見直し、競争を促すための経済や雇用、災害対応を支える市内建設業者育成のために市内業者を優先して発注できるように検討すべきと考え、見直しを伺う。

### 井内 律子

健康推進アプリ B I W A I T E K U の活用について  
生活習慣病は、がんなどの多くの疾病の発症や進行に深く関わり、若い内からの予防が大切である。滋賀県が同アプリを運営しているが、主要な登録年齢層が50歳代で、本市でも若い世代への啓発が必要と考え、見直しを伺う。

### 細川 俊行

大津市の教育委員の構成について  
従前、大津市の教育委員委員は、子どもの健康・保健面で助言できる医師から。保護者の意見が反映できるPTAOBから。社会人育成の立場から企業人を。何より、教育内容や学校運営で助言できる大津市の学校現場のOBから、子どもの課題や教職員の資質、学校づくりに多方面から提言できるような構成されていた。市長の見解を伺う。

### 西村 和典

湖西台地域の認識と現在の進捗状況や今後の活用について  
持続可能な北地域域のまちづくりのための湖西台地域の認識や事業を進めるための現在の進捗状況、今後の活用の方向性について、見直しを伺う。

### 笠谷 洋佑

大津市ごみ集積所設置等補助金について  
令和元年度、当該補助金の予算が十分に確保されていなかった事により、昨年4月1日から受付を開始した申請が4月23日には受付を終了する事態となった。多くの市民が必要とする現状に対し、あまりにもバランスを欠いた予算配分であったと評価せざるを得ない。補正予算も含めた今後の対応について伺う。

### 河村 浩史

マンション開発に伴う公共施設整備に開発業者の協力について  
本市では数多くのマンションが建設されており、今後も続くことと予想されることから、マンション増加に付随して必要となる公共施設などの整備に対し、開発会社に整備のための寄付金を求めるなどの協力を要請すべきであると考え、見直しを伺う。

### 伴 孝昭

観光振興における部局連携と組織改編について  
滋賀県と連携して、文化財保護行政と観光振興や産業振興、まちづくりを一体的に進めるのであれば、本市も部局連携の取り組みを積極的に行う必要があると考え、本市においても、滋賀県が行った文化財保護課を知事部局に移管させるような組織改編を行う考えがあるのか見直しを伺う。

### 神田 健次

小松学区に市立公民館の設置と生涯学習専門員の配置について  
小松学区には生涯学習の拠点となる市立公民館が設置されておらず、生涯学習専門員も配置されていない状況であるが、生涯学習を推進するため、拠点となる市立公民館の設置と生涯学習専門員の配置について、見直しを伺う。

### 鳥井 義徳

災害ボランティアセンター運営訓練の支援について  
近隣の草津市は、年一回市民100名ほど参加される訓練を実施されている。本市は、総合防災訓練の中で実施されているが、それでは不十分であり、災害ボランティアセンターの設置を行っている大津市社会福祉協議会に対して側面的に支援すべきと考え、本市の見直しを伺う。

### 鳥井 義徳

市民センターのあり方について  
市民センターについては、当面現状のまま維持し、将来的に地域における行政サービスのあり方を検討する中で、求められる役割を検討する。施設の適切な維持管理に努め、業務量に応じた適正な人員配置に努める。

## 市政の転換

早春の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。さて、夢あふれる市民が主役のまちづくりをスローガンとして掲げられた佐藤新市長就任後、初めての通常会議となる2月通常会議では、市長の市政運営に対する基本姿勢や令和2年度当初予算を中心とした積極的な議論を行いました。新年度予算については、経常経費や継続費を中心とした骨格予算とする一方で、市民病院への運営費負担金、市道整備など必要と判断した事業を措置するなど実効性ある予算編成になった

前市政の行き過ぎた緊縮財政のもとで先送りされてきた中消防署や庁舎整備など山積する課題解決や拙速に進められてきた行政改革の検証と見直しなど二元代表制のもと積極的な政策提案を行い、将来に夢と希望を持つ市政の実現を目指して所属議員が心を新たに更なる使命感を持って取り組んでまいらる所存でございます。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

新和会 幹事長 八田 憲児



副議長 河村 浩史 議長 細川 俊行 副議長 神田 健次 幹事長 鳥井 義徳 副幹事長 伴 孝昭 幹事長 八田 憲児 副幹事長 佐藤 健司 副幹事長 幸光 正嗣 副幹事長 西村 和典

### 代表質問項目別の市長答弁

夢あふれる市民が主役のまちづくりについて  
これまで受け継がれてきた本市の魅力や将来にわたって維持し、誰もが安心して暮らし、活躍できる持続可能なまちづくりが必要であり、あらゆる分野で種まきが必要である。市民のために強い決意を持って、誠心誠意、力の限りを尽くす。

市民センターのあり方について  
市民センターについては、当面現状のまま維持し、将来的に地域における行政サービスのあり方を検討する中で、求められる役割を検討する。施設の適切な維持管理に努め、業務量に応じた適正な人員配置に努める。

幼児教育と保育の質の向上について  
必要な定員数は確保できていると考えるため、当面新たな施設整備は行わず、各施設の定員を充足できる状況にしていこうと重要である。市立保育園の民営化は、地域との協議により民間の認定子ども園への移行を検討している伊香立保育園を除いて白紙に戻し、就学前児童の施設全体について、公の役割や地域の特性、将来の人口推計を踏まえ、今後のあり方を検討する。

専門職の配置について  
地域保健行政の実践に基づく政策立案を担うべく、保健師を年次的に増員したい。生活習慣病重症化予防事業をはじめ、今後実施する高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業等に戦略的に対応するため、適正な職員の配置を行い、状況に合わせて必要な専門職の雇用を検討する。

夢びる予算について  
子どもたちが地域に誇りを持ち、夢を持って学校で学べるよう、それぞれの学校からの企画提案等に基づき、学校の裁量で予算執行ができる「夢びる予算」を創設したい。

琵琶湖文化館の後継施設誘致について  
今後、本市に後継施設が整備される場合は、貴重な文化財を展示・保存し、将来に引き継ぐとともに、豊かな滋賀・大津の文化に関する学習や体験の学びの場として、観光客などの来訪者を市内各地の寺社仏閣等に誘うゲートウェイとして、さらに琵琶湖文化館を核とした地域づくりに取り組む。

民間委託や民営化等の推進について  
行政の果たすべき役割と責務を明確にし、ながら直営を基本とし、そのベストミックスを常に検討していく。

職員のモチベーションアップについて  
人事・給与構造改革については、激変緩和にかかる経過措置が令和元年度末で終了となるため、改革の実効性を検証し、職員団体ともしっかりと協議していく。

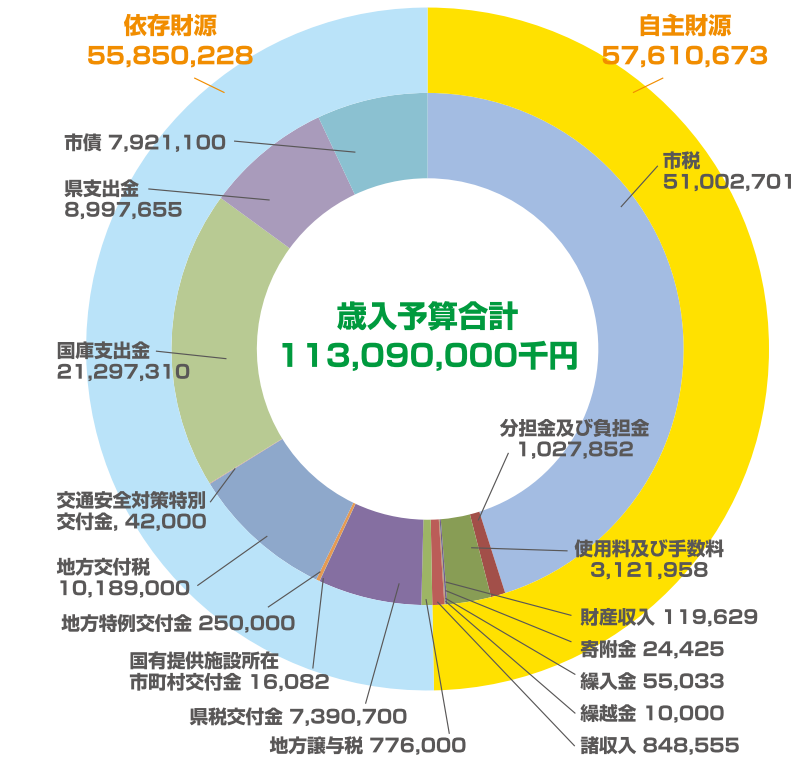
公文書管理について  
訴訟となった案件は、原告から民事訴訟法に基づき当事者照会を受けており、これに応じて調査を行う必要がある。当該公文書に主担当として関わっていた職員が既に退職していることから元職員以外の関係職員から聞き取りをするなど、可能な限り事実関係の解明に努め、今後講じる措置についての判断は、事実関係が判明したあと適切に行う。

公共施設のマネジメントについて  
施設の長寿命化について予防保全の考え方を踏まえて取り組みを進めており、今後は有効な補助金の活用も視野に入れながら進める。

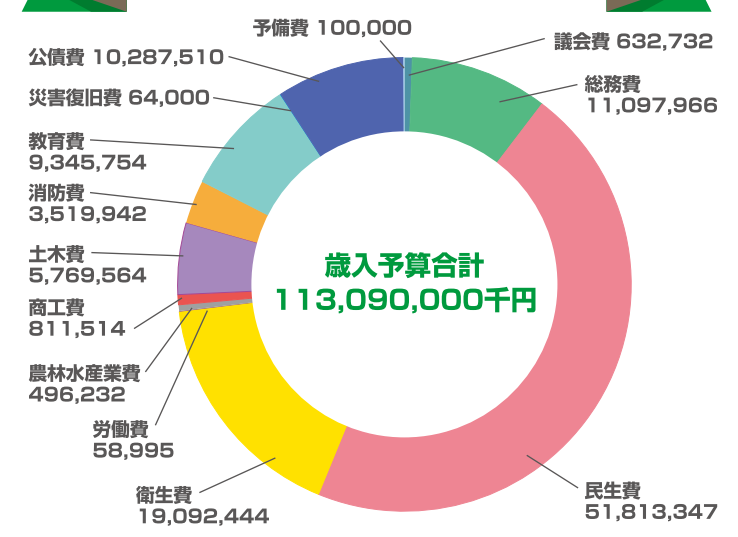
財政運営について  
中期フレームは、緊縮的な予算編成の根拠として利用される側面があったことは否めず、今後の具体的な策定の進め方について職員と協議する。

# 令和2年度の当初予算が決まりました!

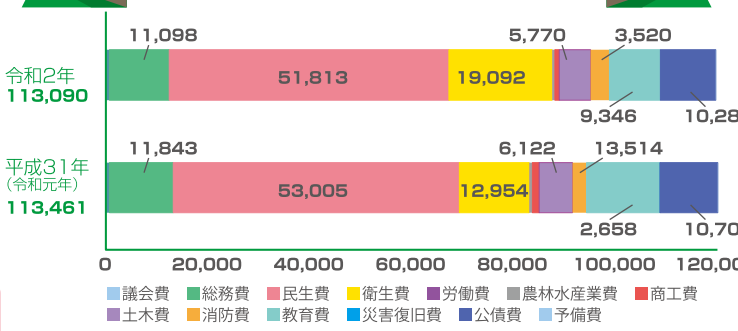
## 一般会計歳入予算(千円)



## 一般会計歳出予算(千円)



## 歳出予算対前年度比(百万円)

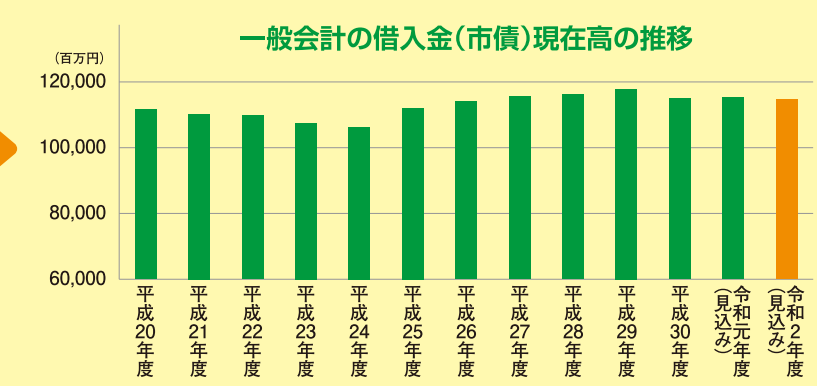


変化の一部をご紹介します

# 市民一人当たりの予算額 329,102円はこんなふうに使われます。

項目	予算額	構成比	市民一人当たり(円)
民生費	51,813,347,000	45.8%	150,781
衛生費	19,092,444,000	16.9%	55,561
総務費	11,097,966,000	9.8%	32,296
公債費	10,287,510,000	9.1%	29,938
教育費	9,345,754,000	8.3%	27,197
土木費	5,769,564,000	5.1%	16,790
消防費	3,519,942,000	3.1%	10,243
その他	2,163,473,000	1.9%	6,296
合計	113,090,000,000	100.0%	329,102

※金額は一般会計の歳出額を令和2年2月末日現在の人口343,632人で割り戻した額  
※表中の%は歳出全体に占める割合



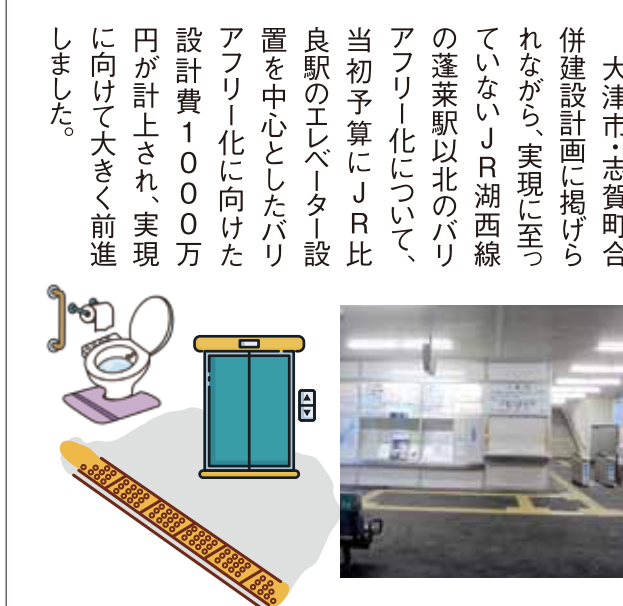
大津市の「借金」って、どれくらいあるのかな?  
2020年度末 市債残高見込額(円)  
総額 114,661,643,000  
市民一人あたり 333,676

前市長のもとでの行き過ぎた緊縮財政により、これまで様々な課題について適切な時期に予算が組まれず、多くの課題が先送りにされてきました。私たち新和会は、将来世代の負担軽減の為、行財政改革などの税金の節約をする一方、今必要な投資を行うことの必要性を会派結成以来訴え続けてまいりました。この度、佐藤新市長のもと、市政運営に様々な変化が出始めています。新和会は、今後も市民の皆様の声に耳を傾け、暮らしに寄り添う「市民が主役のまちづくり」を目指して進めてまいります!



### JR湖西線駅バリアフリー化へ

大津市・志賀町合併建設計画に掲げられながら、実現に至っていないJR湖西線の蓬萊駅以北のバリアフリー化について、当初予算にJR比良駅のエレベーター設置を中心としたバリアフリー化に向けた設計費1000万円が計上され、実現に向けて大きく前進しました。



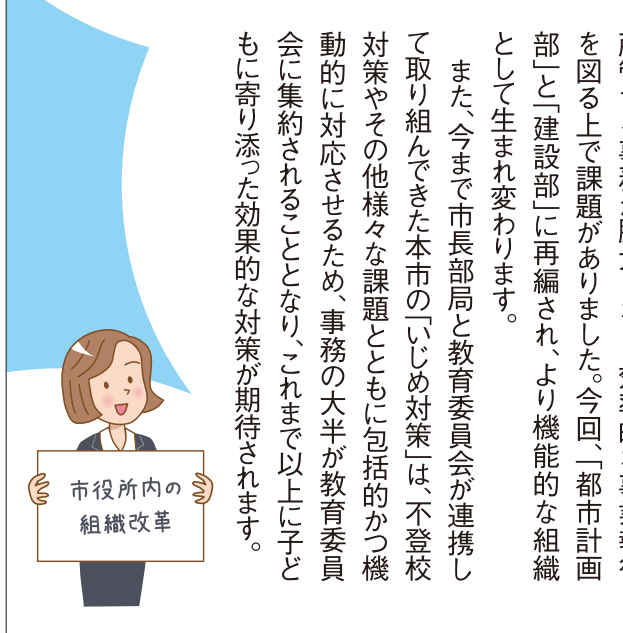
### 道路整備前進

(市道幹1009号線、市道幹2028号線)  
湖西北部で進められている、滋賀県施工の国道477号の改良及び真野川河川改修と連携して進められている市道幹1009号線の整備事業として、新たに8000万円の当初予算が組まれ、令和6年度末の完成に向け前進。また新名神高速道路スマートインターチェンジと連携して進められている市道幹2028号線の改良整備には、約4億の大幅な予算が組み、早期完工に向けた取り組みが進められます。



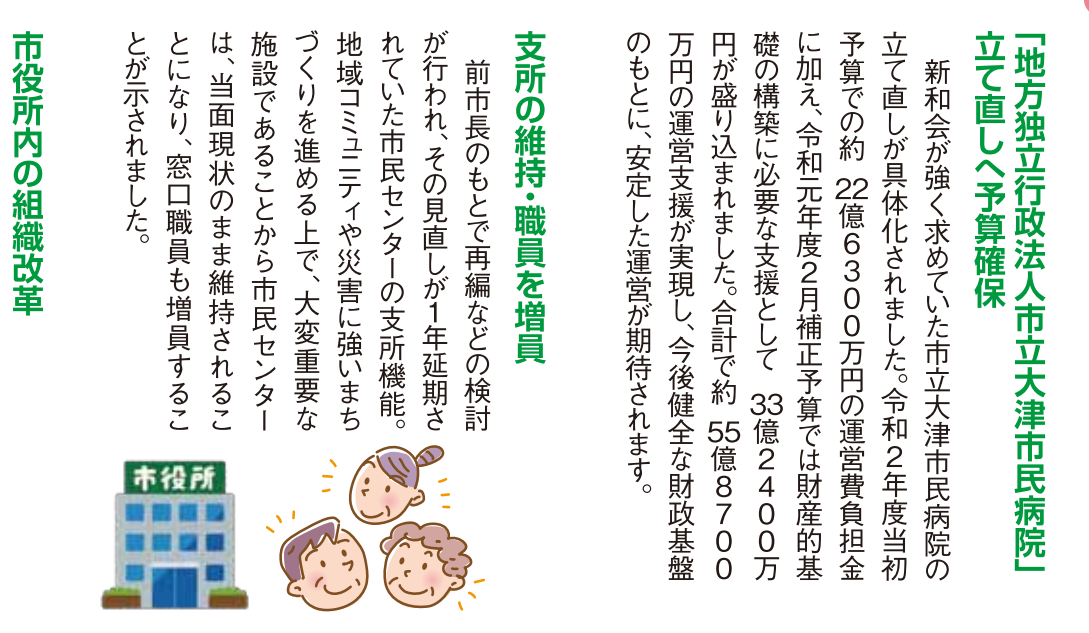
### 支所の維持・職員を増員

前市長のもとで再編などの検討が行われ、その見直しが1年延期されていた市民センターの支所機能。地域コミュニティや災害に強いまちづくりを進める上で、大変重要な施設であることから市民センターは、当面現状のまま維持されることになり、窓口職員も増員することが示されました。



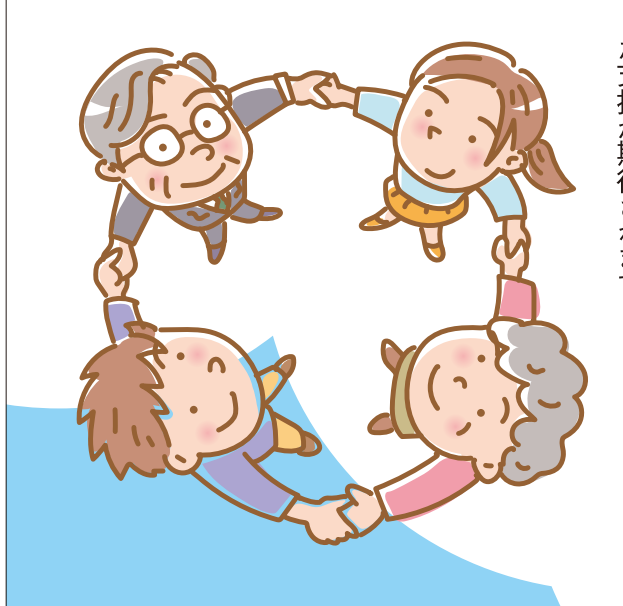
### 「地方独立行政法人市立大津市民病院」立て直しへ予算確保

新和会が強く求めていた市立大津市民病院の立て直しが具体化されました。令和2年度当初予算での約22億6300万円の運営費負担金に加え、令和元年度2月補正予算では財産的基礎の構築に必要な支援として、33億2400万円が盛り込まれました。合計で約55億8700万円の運営支援が実現し、今後健全な財政基盤のもとに、安定した運営が期待されます。



### 高齢者施策

高齢者施策については、地域密着型特別養護老人ホームの建設経費に約3億9000万円が措置されました。また、市内で11カ所目となる(仮称)堅田第2地域包括センターの開設に向けた予算も盛り込まれ高齢者の暮らしに寄り添った支援が期待されます。



### 公立保育園の民営化方針見直しへ

前市長のもとで検討されていた公立保育園の民営化については、地域との協議により民間の認定こども園への移行を検討している伊香立保育園を除き、白紙に戻した上で、就学前児童の施設全体について、市の役割や地域特性、将来の人口推計を踏まえ、今後のあるべき姿を検討していくこととなりました。

